

科目名	病態生理学 Pathophysiology	科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	泉雅之*, 黒澤昌洋*, 高見昭良*, 山田恭聖*, 馬場研二*, 中野雄介*, 内藤千裕*, 岡田浩章* *:実務家教員	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	前学期
科目概要	<p>主要な疾病の病態生理を理解することは、対象を理解し、質の高い看護を提供するために不可欠である。本科目では、臨床の場で遭遇する主要な疾病の病態生理を理解し、疾病に伴う対象の状態を的確に把握する力を養う。さらに、対象の経過を推測し、最良の看護を提供するための方法についてエビデンスに基づいて判断し、意思決定できる能力を養成する。</p>				
目 標	<p>1 主要な疾患に特有な患者の愁訴、症状や症候をその機序を含めて説明できる。 2 病態生理学の知識を活用し、対象の状態や経過を予測できる。 3 病態生理学の知識を活用し、最良の看護を提供するための看護臨床判断について論じることができる。</p>				
内 容	1	概論	病態生理学序論(概論)	泉 雅 之	
	2	画像読影の基本	正常像と読影の基本、画像所見(エックス線写真, CT, MRI)	岡田浩章	
	3	循環器疾患①	心不全をきたす疾患と病態生理 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	中野雄介	
	4	循環器疾患②	虚血性心疾患, 不整脈など ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	内藤千裕	
	5	呼吸器系疾患①	呼吸不全をきたす疾患と病態生理 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	馬場研二	
	6	呼吸器系疾患②	肺がん, 肺炎など ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	馬場研二	
	7	消化器系疾患①	主な消化管疾患 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	泉 雅 之	
	8	消化器系疾患②	主な肝, 胆, 膵疾患 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	泉 雅 之	
	9	血液疾患	主な血液疾患 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	高見昭良	
	10	内分泌・代謝疾患	糖尿病, 甲状腺疾患, 副腎不全, 内分泌・代謝疾患および膠原病など ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	泉 雅 之	
	11	脳神経系疾患	主な脳神経系疾患, 高齢者の特徴 ※患者の愁訴や症状, 症候, 高齢者の特徴を含む。	泉 雅 之	
	12	腎疾患	腎障害(腎不全), 腎代替療法(透析, 移植) ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	泉 雅 之	
	13	新生児・小児疾患	新生児の主な疾患, 新生児・小児の特徴 ※患者の愁訴や症状, 症候を含む。	山田恭聖	
	14	看護臨床判断①	病態生理学の知識を活用した看護臨床判断①事例展開と全体討議	黒澤昌洋	
	15	看護臨床判断②	病態生理学の知識を活用した看護臨床判断②事例展開と全体討議	黒澤昌洋	
学修方法	<p>1 授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 2 事例検討では、討議を通して学びを深めていく。 3 1コマあたり、90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4 授業内容への質問、プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行う。</p>				
評価方法	<p>授業への参加状況(40%), レポート・試験(60%)で評価する。</p>				
教科書・参考書	<p>授業の中で提示する。</p>				
履修上の注意	<p>3分の2以上の出席を満たしている場合、評価対象とする。</p>				
オフィスアワー	<p>泉 雅之: 月曜日 17:00~18:30 C棟7階 教授室7 黒澤昌洋: 月曜日 16:30~18:00 C棟5階 個人研究室③ ※ 兼任・非常勤講師については別紙にて配布する。</p>				